

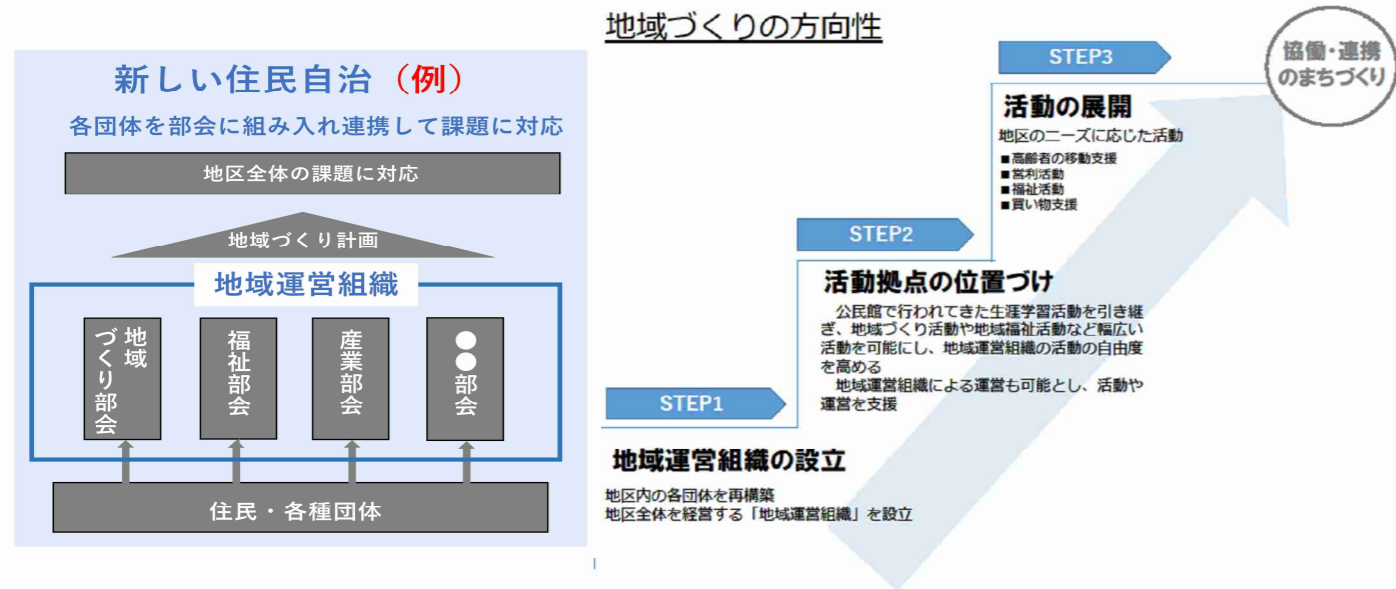
市の「市民協働によるこれからの住民自治の方針」を受けて

市の「市民協働による住民自治検討委員会」

市の方針が令和7年10月に策定されました。方針の策定にあたり、市では4回の「市民協働による住民自治検討委員会」が開催されました。

	日にち	会議概要
第1回	令和7年2月18日	・委嘱状交付 ・委員長、副委員長選出 ・地域づくりの現状と課題の共有 ・現状と課題に対する意見交換
第2回	令和7年5月15日	・第1回検討委員会の振り返り ・大野市の状況 ・課題に対する全国の対応事例 ・対応策の検討
第3回	令和7年7月17日	・方針案検討の流れ ・第2回検討委員会の振り返り ・方針案の検討
第4回	令和7年8月26日	・方針案検討の流れ ・第3回検討委員会の振り返り ・方針案の検討

※同検討委員会は、大野市内の大野地区を含む9地区会長、市内各種団体や若者団体の代表など18名で構成
※第3回の検討委員会において、地域運営組織の設立にあたり『公民館単位での地域運営組織設立について、大野地区は1組織でなく、3組織程度への配慮が必要』との意見がありました。



大野地区地域課題解決検討会の状況

市の「市民協働による住民自治検討委員会」の開催に合わせ、大野地区地域課題解決検討会では、役員会において、情報共有のほか、方針案に基づき大野地区としての地域運営組織のたたき台を作成し意見交換を実施しました。また、市の地域づくり講演会への参加を促しました。

日にち	内容	概要
令和7年5月26日	役員会	・市の第2回検討委員会の内容を共有
令和7年7月30日	役員会	・市の第3回検討委員会の内容を共有 ・方針(案)を基に、大野地区の地域運営組織のたたき台を作成し意見交換
令和7年11月25日	役員会	・市の第4回検討委員会の内容、及び決定した方針内容を共有 ・市の検討委員会の内容、前回(7/30)の役員会の意見を踏まえ、地域運営組織のたたき台を修正し意見交換
令和8年1月19日	講演会	・市の地域づくり講演会への参加(事前に全区長、検討会役員等に案内通知のほか、館報に掲載し参加案内)

まち結びの会～大野地区地域づくり～[大野地区地域課題解決検討会プロジェクトチーム]の取り組み

《目的》

・地域課題を把握し、その解決に向けた検討、取り組みを進めるため、プロジェクトチーム(PT)を構築し、取り組み事項を付託、委任しています。令和7年度は、地域コミュニティの向上に関する事業の実施、地域づくりへの住民意識醸成やその他の地域課題解決にかかる事業を付託、委任しました。

《主な会議、活動》

・会議(日にち、主な内容)

令和7年	4月10日(木)	・今年度の取り組みの検討(年4回の活動を計画)
	5月8日(木)	・前回は踏まえ、今年度の活動概要を協議
	7月3日(木)	・「流しそうめん」in地区レクリエーション大会の内容協議
	9月4日(木)	・「流しそうめん」in地区レクリエーション大会の内容最終確認
	11月27日(木)	・「亀山」秋の自然観察会の内容協議
	11月27日(木)	・「雪だるま、ミニ灯ろう作りin冬物語」の内容協議
	11月27日(木)	・次年度のプロジェクトチーム活動について意見交換
令和8年	1月29日(木)	・「雪だるま、ミニ灯ろう作りin冬物語」の内容最終確認
	1月29日(木)	・次年度プロジェクトチーム活動の内容確認

・活動(日にち、活動内容)

令和7年	6月21日(土)	・まち歩き「流雪溝調査」
	9月21日(日)	・「流しそうめん」in地区レクリエーション大会
	10月11日(土)	・「亀山」秋の自然観察会
令和8年	2月7日(土)	・雪だるま、ミニ灯ろう作りin冬物語



会議の様子

まち結びの会 活動概要

まち歩き「流雪溝調査」

開催日：令和7年6月21日(土)

場所：主に本町通り～2番通り(流雪溝調査)、石灯籠会館(調査前打合せ)

参加者：プロジェクトチームメンバー6名、当検討会会長、事務局3名

関係する地区の方(区長、副区長)5名

アドバイザー：「九頭龍測量株式会社」1名

①目的

流雪溝の水量について、多いところや少ないところがあるので、少しでも調整できることがないか、まち歩きを通して、水の流れ、経路や分岐、流雪溝の状況について確認し、より良い方策がないか模索しました。

②当日の活動

1) 調査前打合せ

図面を用いて、アドバイザーより当日の確認調査する水路や改良すべき箇所などの説明をいただき、情報を共有しました。

2) まち歩き(流雪溝調査)で確認したこと

- ・本町通りの東西に繋がる側溝
- ・ごみなどが溜まる分岐箇所
- ・水の流量を確認し、少ないところの流量を増やすため、仕切り板などを設置可能な場所
- ・現在の水門の状況
- ・六間通りにおけるポンプアップしている融雪水の経路などの状況



まち歩きの様子

流しそうめん in 地区レクリエーション大会

開催日：令和7年9月21日（日）

場所：エキサイト広場（大屋根広場）

参加者：プロジェクトチームメンバー6名、地区スポーツ協会5名、事務局2名
大野地区レクリエーション大会参加者 約140名来場

①目的

地域課題の1つである「地域コミュニティの希薄化」が進む中、交流を促進するため、少しでも多くの方が集えるような催しとして、地区レクリエーション大会に併せ、昨年に引き続き開催しました。

②当日の活動

1) 会場設営（そうめん台 2基）、あと片付け

- ・人員整理用のコーン、汚れ防止の養生シートも設置

2) レクリエーション大会終了後に実施

- ・レクリエーション大会への参加に影響しないよう終了後に実施

3) 当検討会活動の周知

- ・「地域で連携してできること」をパネル展示でPR



流しそうめんの様子

「亀山」秋の自然観察会

開催日：令和7年10月11日（土）

場所：亀山 西登り口から出発

参加者：プロジェクトチームメンバー5名、事務局5名、一般募集参加者13名

講師：福井県自然観察指導員の会の方 2名

①目的

大野地区内の観光地の1つでもある身近な亀山の何気なく見ている自然について、改めて亀山の自然のよさに触れ植物の知識を深めました。

②当日の活動

1) 講師に植物の説明をいただきながら散策

- ・普段、通り過ぎてしまう植物に改めて着目
- ・地元民でも知らないことが多く熱心に聞き入っていた



立ち止まってる説明

雪だるま、ミニ灯ろう作り in 冬物語

開催日：令和8年2月7日（土）

場所：大手門広場

参加者：プロジェクトチームメンバー10名、事務局5名、一般参加者 約300名
奥越明成高校ボランティア部（打合せ会議：生徒6名、顧問1名）

①目的

大野地区内で開催される「冬物語」に訪れる参加者、地域の皆さんが一体となって会場である「大手門広場」に雪の飾り付けを行い、多世代交流や賑わい創出による地域活性化を図りました。

②事前打ち合わせ

1) 奥越明成高校ボランティア部の協力

- ・打合せ会議で飾り付けのアイデアをいただきレイアウトを決定

③当日の活動

1) 高校生が提案した「雪うさぎ」などをフォトスポットに制作

2) 一般参加者に広場内でのミニ雪だるまなどの制作を促す

- ・参加者への道具の貸し出し、制作協力のほか、雪の装飾作り

3) ミニ灯ろうや装飾への点火、点灯

- ・ろうそくやLEDキャンドルへの点火、点灯



多くの一般参加者が雪の装飾を楽しむ

地域で連携して出来ることの取り組み

これまでの全住民アンケートや地区別座談会などで共有された課題の解決に自ら考え地域で連携し実践しました。

第1, 2地区「防災 to キャンプ on 芝生」

日にち：令和7年6月7日(土)～8日(日)

- ・有終南小学校で防災体験として避難所での仕切り、簡易ベッドの設置のほか、防災や避難についてのワークショップを実施しました。
- ・校庭の芝生の上でのスポーツやテント設営などを行い、テント泊も体験しました。
- ・第1地区と第2地区が連携して実施し、多数の地域住民の参加をいただくことができました。



防災体験で簡易ベッドを設置

第6地区「流雪溝水量改善にかかる調査及び要望」

日にち：令和7年6月21日（土）〔調査〕

令和7年8月12日（火）〔市へ要望〕

- ・第6地区の本町通りの流雪溝の水量が少ないため、関係する行政区が連携し、よりよい改善策を導きだすため流雪溝の調査を実施しました。
- ・本検討会のまち結びの会（プロジェクトチーム）とも連携し、またアドバイザーを依頼し専門的な意見もお聞きしました。
- ・流雪溝の改善は、新たな水源確保や大きな予算を伴うようなことは難しく、また下流地区へ大きな影響を与えます。これらのことを考慮しながら、改善案を作成し市へ要望する際の資料としました。
- ・市においては関係区の了解が得られていることも踏まえ、予算的にも工法的にもすぐに対応できるところは改善していただきました。



流雪溝の調査の様子

行政区再編モデル事業

◆第6地区における先行的取り組み

- ・大野地区の中でも小規模な行政区が多くある第6地区をモデル地区として話し合いを進めています。
 - ・第6地区区長会の会合において、行政区再編の必要性、メリット・デメリットなどについて説明し、意見交換を行いました。
 - ・行政区再編は地区の意見集約や区費の調整など課題も多く、現区長の負担や責任が重くなることを見込まれ簡単には進みませんが、令和8年度までは業務委託している業者の支援もいただき進める予定です。
 - ・市が再編を進めるのではなく、当検討会として再編を進めることを確認し、再編の枠組み（たたき台）を設定し、まずは各行政区において隣接する行政区と話し合いを持つことが可能かどうかを協議することになりました。
- 〔会議の状況〕 令和7年6月12日（木）、令和7年9月25日（木）：第6地区区長会の会合にて意見交換
令和7年9月9日（火）：第6地区行政区再編検討会（第6地区会長、副会長3名）

今年度の取り組みを振り返って

●住民自治へ向けて

- ・本年度は、大きく4つの取り組みを実施しました。
- ① 市の「市民協働によるこれからの住民自治の方針」を受けての対応
- ② 住民等参加推進・地域住民の意識醸成
- ③ 地域で連携して出来ることの取り組み
- ④ 行政区再編モデル事業

以上、当検討会のすべての取り組みについては、行政主導でなく地域住民が考え実行していくものであり、将来の住民主体の地域づくり活動（住民自治）へ繋がっていくものと考えます。